

高崎支部 平成25年度第1回見学会 「富岡製糸場等の日本の近代の歴史散策」

高崎支部における恒例の「工場見学」を、「ものづくり」をテーマに前橋支部と合同で実施しました。

世界遺産登録を目指し、登録運動に力を入れる「富岡製糸場」を中心に、倉沢村の銘酒蔵「牧野酒造」の工場見学並びに小栗上野介・菩提寺である「東善寺」（小栗上野介・歴史館）を見学しました。

＊日 時： 平成26年3月27日（木）9:00～17:00 《高崎駅東口、集合・解散》

＊見学ルート： 高崎駅東口(集合)⇒富岡製糸場・見学⇒市内・割烹にて昼食
⇒榛名「牧野酒造」見学⇒東善寺⇒高崎駅東口(解散)

【参加者】 高崎支部・前橋支部メンバー（石原、樋田、岡田、堀越、北形、竹内、飯塚、奥野、中村、手島、酒井）



＊「富岡製糸場」：「解説員」ガイドにより、『明治政府の「富国強兵/殖産興業」政策により、近代産業発祥地として教科書にあった通りの、140年経過している「富岡製糸場」建物に驚くと共に、日本の「ものづくり」の原点となった官営模範工場を見学。』通常非公開の「鉄水槽（国内最古の鉄・構造物）」を特別に見学。
⇒明治政府の掲げた殖産政策の重要策は、輸出品の要であった「生糸」の品質改良と「大量生産を可能とする器械製糸工場の導入と推進」であったが、この歴史上の官営工場の史跡を再認識できた。

群馬の住人としては、世界遺産・登録を大変誇りに思うが、登録を前に見学できた事は、幸運であった。

＊酒蔵「牧野酒造」：群馬県内最古と言われる酒蔵（元禄創業）において、通常一般人は出入りの出来ない「酒蔵」に入れさせていただき、酒作り工程を見学し、社長（17代蔵元）より、詳細な説明を受けた。
又、酒作り工程中の重要な位置を占める絞り工程において、『新酒』『利酒』<試飲>を体験できた。

＊東善寺：小栗上野介の菩提寺である当寺に歴史館が併設されていることより、参観した。

<追伸> ＊富岡製糸場については、世界遺産登録が、確定的（イコモスより、登録が適当と回答されている。）との事より、6月下旬には、ユネスコ世界遺産委員会において、正式に「世界遺産登録」となると考えられる。

（結果⇒2014年6月25日、「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録決定）

酒井広志